

長野市防災基金運用収益事業

1 基金について

(1) 基金の目的

この基金は、地附山において昭和 60 年 7 月 26 日に発生した地滑り災害の教訓を生かし、防災に関する事業の推進及び市民の防災意識の高揚を図るため、設置された。

(2) 基金の額 30,000,000 円（昭和 63 年 4 月 1 日施行時）

30,000,000 円（平成 9 年増額※）

※内訳

20,000 千円 地附山地滑り災害訴訟原告団からの寄附

10,000 千円 長野市から拠出

60,000,000 円（現在）

2 防災基金運用収益事業について

(1) 収益事業の経過

基金の運用益を活用し、平成元年より収益事業を実施してきており、防災講演会（H6～18, 23）・県短期大学との連携による防災紙芝居・絵本の作成（H20～27）などを実施している。（資料No. 3 長野市防災基金運用収益事業実施経過 参照）

(2) 近年の事業内容

近年は、多くの運用収益金が望めない中、信州大学と連携し、各住民自治協議会単位で実施する信州大学出前講座を活用した防災講演会（地区防災講演会 H21、24～現在）に、講師派遣費用を負担し、市民の防災意識の高揚を図っている。

実施いただいた住民自治協議会の役員・参加者の多くの皆様からは、普段、中々聞くことができない防災対策の研究者から、学術的な話を交えての講演を聞くことができ、防災に対する認識を改めたなどの意見をいただき、大変好評

をいただいている。

また、令和3年には県短期大学との連携により作成した防災紙芝居・絵本を市ホームページに掲載することで、各ご家庭でも活用できるようにした。

(3) 令和6年度の防災基金運用収益事業実施状況

信州大学出前講座を活用した防災講演会の開催

事業費：120,000円（6地区分）

※R6年度、現在の状況

古牧地区（8月10日開催）

吉田地区（8月23日開催）

第一地区（8月27日開催）

中条地区（9月1日開催）※台風10号接近で延期

信更地区（9月28日予定）

長沼地区（1月26日予定）